

53・9月

第74号

発行

根岸晃岳

編村愛風
中秋元梁風

吟道月報

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可

神奈川 碩心会 発行

会員数(539.現在)

逗子地区 117名

葉山地区 208名

大船地区 74名

計 399名

常に努力して居る者には、失敗も、成功の転機となる。

私の好きな詩 (詩吟と私)

会長 根岸晃岳

広報部より奥伝以上の方に、私の好きな詩々というテーマで執筆を依頼してありますので私も責任上、拙文をいたしました。戦中に育った私は亡くなった兄が支那事変当時、中国と蒙古とを同一視して頼山陽の蒙古来を、吟にはほど遠い蛮声を張りあげていたのに唱和して愛国者のつもりでおりました。又その兄が上海から張繼の楓橋夜泊の掛軸を買ってきたので、その優雅な書体に惚れながら床の間に掛け二人してうなづいたものでした。又徳富蘆花原作の映画(題名は忘れまされた)で村松文三の、壁に題すの男児志を立て、郷関を越すの詩吟の場面に感激してきました。

一生懸命に吟じたものでした。その頃海軍工廠の造船部では神風流が大分盛んでした。造兵部に木村宗範が指導に来ておられた頃になります。初めて私を地区青年会で興国流に入門し、最初にも習った徳川齊昭の大楠公は今でも強く印象に残っております。まとめますと蒙古来、楓橋夜泊、大楠公、壁に題すが戦前からの強い思い出の詩です。一年現役で兵役を終えた私は同窓生や現役や応召で、そくそくと出征して行くのを見送りながら一人銃後にとりのこされてしまふような気持ちにかられ志願してインドネシアのスラバヤに軍属として赴任しました。出発は戦況も切迫してきて昭和十九年一月七日、たえず空

襲や敵潜に脅える輸送船団で士気を鼓舞する
ため毎日のように開催される演芸会で佐世保
からの同乗者群馬県人の一刀流の剣士とく
で毎回剣舞の吟をやり賞品としてもらう食料
を同室の人達と分けあったことなども楽し
い出です、へ而し戦地に向う途中ですから
良く研ぎ澄まされた日本刀を仮設のせまい舞
台で振り廻されてよく恐ろしくなかつたもの
だと今考えるとゾウツとします、

戦後横須賀の米軍基地に勤めました在意気地
なく米兵にへつらう男達、米兵を盾に得意願
の女達を見るにつけ戦後の祖国を思想的に立
ち直らせるには詩吟以外にないと思つてへ幼
稚な私が指導しようと思つたと大汗ものです
が、脳場の文化部長安川氏（三井雲岳先生の
海兵の先輩海軍大佐、再建時の碩心会のメン
バーでもある）と相談して希望者をつのつた
ところ松本篤風（岳篤）、新田嶺風（岳悠）
両先生も脳場におられたので、指導者を両先
先にお願ひして昭和二十九年発足させました

のが横修庵吟道会（最近まで加藤秀岳先生が
会長だった海星吟道会の前身）で当初は戦中
に学んだ頼山陽、西郷南洲、そして乃木希典
作詩を好んで吟じておりましたが、その後杜
甫、李白等の大人然とした詩風が好きになり
現在は、半夜、無心、など良寛の心境に強
く魅かれておりますが、吟道に入門して四十
年、一向に上達はしませんか、どんな詩でも
愛吟して満遍なく吟じているうちに自然にそ
の詩の景観、作者の心境等が解つて来るのか
吟の魅力でしようか。

感想文、手記、短歌、俳句、詩、等投稿を
お願ひします。

原稿は毎月二十日まで中村愛鳳 堀内四九〇番地
秋元梁鳳 堀内五三番地
まで

はがき、封書どちらでも結構です。

審査後の講評について

審査の先生方の評の一端をまだまだ沢山云

いたい事はあるが……と前おきして、

◎全般を通じて良好で、特に初二段、については目立って良好であった、

◎字句の読みについて研究を要するものあり例へば「功なきを、等を功泣きを等と発音するなど……(アクセントの使い方)

◎教本はなるべく持たぬ事がよろしい、

◎書取りについては、読下レに書いて符印を附けるよう、

◎審査の結果、及講評の時点に、受審査員の四分の一名位しか残っておらず、今後は特別の用事のない者は、結果と講評を聞いてから帰られるように掛けてほしい、

※ (吟道を修める上に、参考になることが多くあると思います)

役員の変更

第三十四回神奈川県吟道大会開催

と き。昭和五十三年十月十五日(日)

と ころ。浦賀住友体育館

碩心会より左記の方々が出吟されます

合吟―色支部・上支部・下山支部・桜山A支部

連吟―村田瀨風 広瀬翔風

独吟―沼田義風 秋元梁風

去る五月神奈川県道本部の役員が改選が行われ、五月号で新役員を招介いたしました。が、碩心会の県本部理事は左の通りです、

- | | | |
|------|------|------|
| 沼田光岳 | 小峰桜岳 | 加藤冽風 |
| 中村幸風 | 竹石憲風 | 千葉劔風 |
| 千葉香風 | 中村愛風 | |

会員の異動

入会者

(下山支部)	矢嶋 秀彦	横須賀市池上町七・五・六	電 0468 一五二・二六〇六
(〃)	前野 君江	横須賀市馬堀町三・五・一	0468 一四二・三二二〇
(〃)	多田 保雄	横須賀市根岸町二・一・〇	0468 一三六・四六〇二
(桜山支部A)	長尾 悦子	逗子市逗子二・一・三	0468 一七一・三二二五
(松和支部)	武藤菊太郎	茅ヶ崎市海岸四・七・八	0467 一八二・〇四三一
(大船支部A)	立沢千世見	藤沢市大鋸三・一・四	0466 一三三・〇四九〇
(藤沢吟道会より移籍入会)	松川 好明	横須賀市金沢区釜利谷町五・三	〃 一八二・一六八〇二
(滝坂支部)	鈴木 利行	葉山町一色九・一・八	0468 一七五・二四五九

(〃) 鈴木 義子 葉山町一色九・一・八

電 0468 一七五・二四五九

以上九名

退会者

✓ 142 八重樫武山 ✓ 319 佐藤 茂務

✓ 358 高波 克雄 ✓ 115 加藤 鶴山 以上三名

木の下支部支部長に 松尾秀夫 着任

先に配布しました会員名簿に誤記があると思
います。各支部で誤記を取りまとめ 務めて
提出して下さい。

名簿訂正

276 三橋恵子 雅号部を恵泉に

312 根岸ナヲ 白泉を己に初伝なる由

172 加藤セイ 一色Bを一色Cに

390 遠藤とれ 71を75に

年月号訂正

傾心会放場一覽表中

④ 建設 旺口水とあるは火に 連絡者宗形幸山(71)三五一九に

⑥ 島見 井沢正山とあるは井沢正風 連絡者井沢正山と井沢正風